

平成25年度第1回公立大学法人熊本県立大学理事会  
議 事 録

日時：平成25年6月24日（月）午後3時10分～午後4時

場所：公立大学法人熊本県立大学 本部棟2階大会議室

出席：

<理事> 理事長 五百旗頭 真  
副理事長（学長） 古賀 実  
理事（副学長） 半藤 英明  
理事（事務局長） 岡本 哲夫  
理事 小栗 宏夫  
<監事> 監事 清水谷 洋樹  
監事 樋口 信夫

<事務局> 田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター事務長、野尻学術情報メディアセンター事務長、山瀬総務課総務班長、石松総務課財務班長、山田企画調整室参事

1 開会（進行：田代事務局次長）

2 五百旗頭理事長あいさつ

3 議題（議長：五百旗頭理事長）

（1）審議事項

① 平成24年度業務実績報告書について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、「平成24年度業務実績報告書」の作成の趣旨、審議・検討の経過及びスケジュール、年度計画進行管理に関する自己評価の概要等について、さらに、古賀学長から、当該報告書のポイントについて説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成24年度決算見込みについて

事務局総務課から、資料2に基づき、平成24年度決算に関する各種財務諸表、決算報告書について、また、「当期総利益の105,120千円は、今後、県議会の承認を得た上で、積み立てることになる。」との説明があった。

続けて「監事監査において結果は相当であるとの報告をいただいた。」との説明があり、清水谷監事及び樋口監事からも、適正であるとの発言があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

古賀学長から、資料3に基づき、教員採用に係る枠取り（4件）の説明が次のとおりあった。

- ・ 1件目は、文学部の「アメリカ文学（特に小説）・文化」。職位は准教授で、昨年度末退職教員の後任人事である。
- ・ 2件目は、文学部の「英語教育」。准教授又は講師で、これも昨年度末退職教員の補充。教職課程における英語教育実習の指導もしていただける方と考えている。
- ・ 3件目は、環境共生学部の「建築計画学」。これは建築士の受験資格にも絡む科目でもあり、来年3月退職予定教員の後任としてお願いしたい。建築設計の経験や研究業績も求められるので、教授、准教授又は講師ということで、年齢問わず広い範囲で募集したい。
- ・ 4件目は、総合管理学部の「情報メディア」。これは社会科学系の情報分野でも欠くことができない教育分野であり、准教授又は講師で、来年3月退職予定教員の後を埋めたい。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 役員及び職員の給与減額支給措置について

事務局総務課から、資料4に基づき、「国家公務員の給与削減に続き、地方公務員（公立大学法人の職員を含む）の給与削減を前提とした地方交付税法改正が行われたことを受け、県は国に準じた給与減額を行うことを議決した。県から運営交付金を受ける本学の財政基盤に大きな影響が及ぶ状況にある中で、本学に対して役職員の給与見直しの要請が行われたところ。本学においても、県に準拠した措置を、平成25年7月1日から平成26年3月31日まで実施したいと考えている。なお、本学職員組合の代表の方とは現在まで交渉を3回重ねており、今週再度交渉を行い、最終的にご理解をいただき、実施をしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 教員の採用について

事務局総務課から、資料5に基づき、平成25年10月1日付けで、総合管理学部に佐藤雄一郎氏（専門分野：憲法学）を講師として採用する予定であることの報告があった。

② 平成26年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、学部入試及び大学院入試（春季入学）の選抜方法等、並びに平成25年度入試広報について報告があった。

③ 平成25年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料7に基づき、平成25年度入学者の男女比、定員充足率、県内・県外高校別入学者数、推薦入試の高校別志願者数、合格者の最高・最低・

平均点、大学院入学者内訳の推移等について報告があった。

④ 平成25年3月卒業者の就職等決定状況について

事務局学生支援課から、資料8に基づき、平成25年3月卒業者の就職等決定状況（平成25年4月30日現在）について、就職率は92.4%で昨年度の最終値89.9%より向上したことの他、職種別決定状況と就職先、内定報告状況、学部卒業者の進学先、大学院修了者の就職先等について報告があった。

⑤ 特任教授の任用について

地域連携・研究推進センターから、資料9に基づき、「平成25年5月20日に、元環境共生学部教授で名誉教授の篠原亮太氏を、特任教授として採用した。包括協定を締結している水俣市の環境大学院構想をはじめとする地域と大学の連携策について、学内の各機関・学部、及び本学と地域社会を結びつける総合的検討調整・事業推進にご尽力いただく予定である。」との報告があった。

4 その他

次回理事会は、平成25年10月22日（火）経営会議（14：30～）終了後に開催することを確認した。

5 閉会